



自分の顔に責任を持つ

十一月も下旬になり、朝夕寒くなってきましたね。校門であいさつ運動をしながら登校してくる皆さんの「顔」を見ていて変化を感じます。

三年生： 期末テストに突入し、表情も締まってきました。

二年生： 「トライやる・ウィーク」を経験して、挨拶や言葉遣いの大切さが分かってきたことでしょう。

一年生： 小学生の頃の面影が消え去り、中学生らしい顔つきに変わってきました。

さて、昔から「自分の顔に責任を持つ」と言われています。「顔」はその人の心をつぶさに表しています。皆さんは毎日鏡を見ると思いますが、自分の顔に注意を払っていますか？人間、一番良いのは笑顔ですね。信念を貫いている人は、ニコッと笑っただけで相手の心をつかむことができます。優しい顔、穏やかな顔、気迫のある顔、決意した顔、意欲のある顔など、内面が顔つきや態度に表れてきます。そして、いつしかその人の顔つきもそうなります。

反対に、批判的なことばかり口にしていると、満たされない思いが口元に現れます。不満な顔、とんがった顔、しらけた顔、皮肉な顔、馬鹿にした顔など、表情や態度に表れてくると嫌な顔になってきます。また、自信の無い人は目線に力が無く、訴えてきません。そして、いつしか落ち着いた顔になります。

目が澄んでいるか、よどんでいるかは、まさに心の鏡です。顔にはその人の気持ちが表れ、歳とともに独自の味わいがかもし出されてきます。良い笑顔がにじみ出るような、充実した素晴らしい毎日を送って下さい。

トイレ掃除に学ぶ会

11月18日(日)に「常陽中学校トイレ掃除に学ぶ会」を行いました。昨年度に引き続き「西宮トイレ掃除に学ぶ会」のボランティアの方々には指導をいただき、総勢100名を超える人数で常陽中学校のトイレを磨き上げました。ボランティアの中心メンバーは久井さん・佐藤さんという男性ですが、若い人もいます。学校の先生もいます。また、主婦の人もいます。色々です。

主にスポンジやタオルそしてブラシを使ってトイレや便器を磨き上げていきます。三つだけ約束事があります。

①私語をしない ②他人と比較しない ③両手を使う

簡単なことですがそれだけ一所懸命ひたむきに集中すると言うことです。便器を素手で触って磨きます。ちょっとビックリする人もいるでしょうがやり遂げると清々しい気持ちになります。参加してくれた人は理解してくれたと思います。掃除の後、豚汁とおにぎりのおいしかったこと。

今後も計画しますので、未体験の人は是非参加してください。

